

## 連合岡山

### 2018 春季生活闘争の取り組みまとめ

#### はじめに

2018春季生活闘争は、「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現を同時に推し進めることで、日本社会全体の生産性を向上させ、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」をめざした。

これまでの間、月例賃金にこだわり賃金の社会的水準確保を重視した取り組みを継続するとともに、中小企業労働者や非正規労働者の処遇改善を念頭に置いて、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」と働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させる方針を掲げ、組織一体となった取り組みを行ってきた。

組織討議と最終回答集計結果（7月6日公表）を踏まえ、改めて2018春季生活闘争の評価と今後に向けた課題を以下のとおり整理し、2019以降の春季生活闘争の方針議論へつなげていく。

#### 1. 地域ミニマム賃金の取り組み

連合岡山の地域ミニマム運動は、本部方針に則り「地域において不合理な賃金格差を是正する」ことを目的に1995年より開始された、春季生活闘争と一体となって取り組む運動である。連合岡山はこの間、重要な運動課題として、賃金の規模間・地域間等の格差是正に取り組んできた。

連合岡山としても、中小労働対策委員会や執行委員会での議論を経て設定した地域ミニマム賃金を基に、地域での相場形成を意識しながら広く社会へ情報発信を行い、一定の成果を果たしてきたところであるが、連合本部より示された「2016 春季生活闘争方針」の中で、「底上げ・底支え」「格差是正」の機能に特化した運動とする方向性が示された。

「2017 賃金実態調査」において、300人未満の単組のみを対象として調査を行い、49単組、3,763人分のデータを集めることができ、産業別の特性値を「2018 地域ミニマム賃金」として広く社会に公表した。

連合岡山としても賃金実態調査の結果として集約された賃金水準（特性値）を各地域で広く社会に向けて情報開示することに注力し、地域における職種別賃金の相場観を高める運動を進めていく。

## 2. 春季生活闘争 開始宣言集会・学習会

連合岡山として、昨年12月14日に「2018 春季生活闘争方針」を決定し、翌2018年2月1日、2018 春季生活闘争 開始宣言集会・学習会を開催した。連合本部より富田総合局長を招いて連合白書を基に、取り巻く情勢や春季生活闘争方針などについて学習するとともに、開始宣言により今次交渉をスタートした。

## 3. 行政や経営者団体への働きかけ

2月23日に『賃上げの拡がり』と『働き方の見直し』に向けた取り組みへの協力をお願い」を岡山県経営者協会へ、3月13日には岡山労働局へ申し入れ、労働を取り巻く情勢や労働者保護ルールのあり方などについて論議した。

報道機関にも取り上げられ、春季生活闘争の社会的波及効果を高めることができた。

## 4. なんでも労働相談

2月8日～10日の3日間にわたり、2018 春季生活闘争と連動した全国一斉集中労働相談ダイヤルとして、「働き続けたい！なぜ辞めなければならないの!? STOP 雇止め・雇用不安！連合集中労働相談ホットライン」を実施し、13件の労働相談を受け付けた。

## 5. 総決起集会・デモ行進

3月3日には、岡山市役所南の大供公園で、構成組織の組合員、組織内議員・協力議員の2,000人が参加し2018 春季生活闘争 総決起集会を開催した。その後、晴天のもと、街宣車を先頭に「底上げ・底支え」「格差是正」「すべての働く者の立場にたった働き方」を訴え、中国銀行岡山駅前支店まで約2.5kmをデモ行進した。

## 6. キャラバン行動・街宣行動

今次闘争を盛り上げるため、交渉が開始される前の2月5日に岡山駅前、倉敷駅前街宣行動を実施し、世論喚起につなげた。また、2月26日から27日に北部地協、3月12日から15日の間で西部地協、3月16日から20日の間で東部地協エリアにおいてキャラバン行動を実施した。

また、「クラシノソコアゲ応援団！RENGO キャンペーン」と連動した街宣行動を適宜行い、「底上げ・底支え」「格差是正」及び「長時間労働の是正」の必要性について世論喚起を行った。

## 7. 中小（地場）労組交流研修会

2月17日に北部地協、西部地協、2月24日には東部地協にて中小（地場）労組交流研修会を開催し、今年も全ての地協で交渉開始前に研修会を開催することが出来た。研修会では、連合岡山2018 春季生活闘争の方針と具体的な取り組みを説明するとともに、各構成組織の要求・交渉状況等について意見交換を行った。

## 8. 交渉情報の共有化

構成組織から報告のあった要求・回答情報は適宜本部に報告し、本部より集計されたデータは「交渉情報」として3月2日を皮切りに構成組織及び報道機関に公表した。

## 9. 今年の特徴点

交渉が始まる前の県内景気は「緩やかな回復が続けている」と発表され、労働市場の概要における有効求人倍率は1.86倍（2月時点）と高水準であった。このことから各企業、特に中小企業においては人出不足が深刻になっており、その中で労働者ひとりあたりの負荷も高まっている状況にあった。

2月23日には岡山県議会の開会に合わせ、民主・県民クラブを訪問し、「2018 春季生活闘争方針」と各種街宣活動に対する協力について共有をはかった。

3月には北部地協と当該エリアの組織内議員と連携を強化するため意見交換会を開催した。

2018年の「地域フォーラム」は、8月25日「ホテルメルパーク岡山」において開催した。フォーラムのテーマを「私たちの働き方改革 ～すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！～」とし、岡山大学 大学院 西田教授による基調講演の後、パネルディスカッションでは、行政や経営者団体、労働組合の代表者、大学生を交えて活発な論議を交わすことができた。

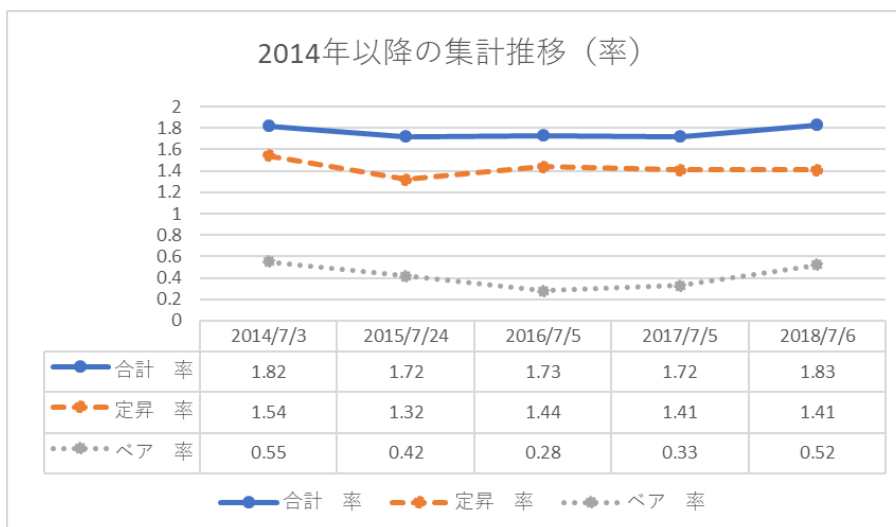
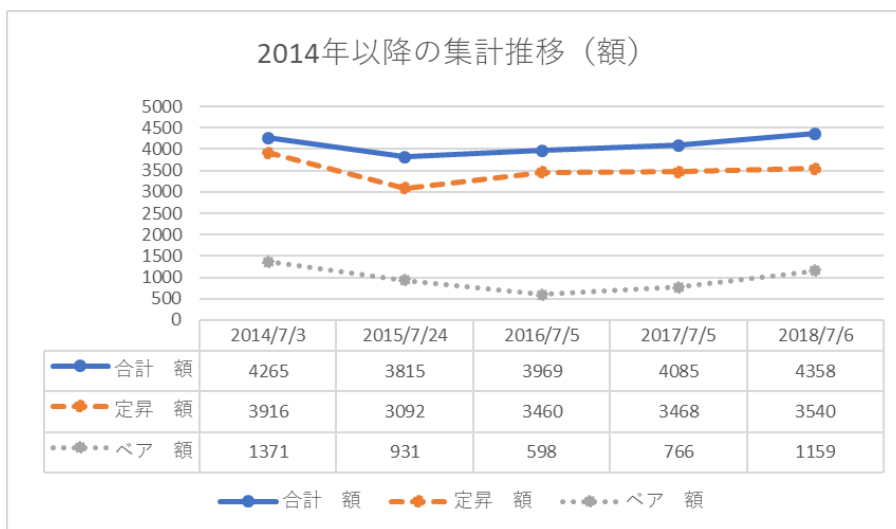
以上

## 2018 春季生活闘争 連合岡山集計結果

2018 春季生活闘争の交渉結果について、連合岡山で集計した結果以下のとおりとなった。

最終的に7月6日の集計では、賃金の妥結額を単純平均すると、定期昇給込で4,358円（ベースアップを含む賃上げ額は1,159円）、昨年同時期と比べて+273円の回答となり、ベースアップの金額と定期昇給分どちらの金額も昨年より増額となった。

産業別		企業規模別	
製造業	4,480円 (+188円)	～99人規模	4,258円 (+23円)
商業流通業	4,582円 (+869円)	100～299人規模	4,207円 (+444円)
交通運輸業	2,988円 (+338円)	300未満	4,238円 (+205円)
サービスホテル業	3,000円 (▲1,700円)	300～999人規模	4,398円 (+364円)
その他	7,000円 (+1,000円)	1000人～	6,610円 (+1,450円)



※毎年の集計対象組合は全て同一ではなく、対比は整合しない

連合岡山 2018春季生活闘争 県内情勢

【要求状況と昨年同時期との比較】

連合本部発表：2018年7月6日

連合岡山集計：2018年7月6日

業種別	集計組合		対比		昨年同時期		2018要求						対比						昨年同時期（2017年7月5日）						
	組合数	人員	組合数	人員	組合数	人員	金額			率			金額			率			金額			率			
							合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	
製造業	300未満計	53	5,367	9	311	44	5,056	8,115	3,679	3,855	3.42	1.31	1.39	▲ 877	▲ 273	179	▲ 0.13	▲ 0.31	▲ 0.40	8,992	3,952	3,676	3.55	1.62	1.79
	合計	67	15,397	8	▲ 1	59	15,398	7,910	3,682	3,656	3.33	1.38	1.37	▲ 770	▲ 249	21	▲ 0.09	▲ 0.21	▲ 0.24	8,680	3,931	3,635	3.42	1.59	1.61
商業流通	300未満計	3	371	▲ 1	▲ 129	4	500	9,570			4.01			70	0	0	0.01	0.00		9,500			4.00		
	合計	9	4,183	2	1,748	7	2,435	9,152	4,294	5,893	3.91	1.59	2.33	752	876	1,338	0.43	0.32	0.56	8,400	3,418	4,555	3.48	1.27	1.77
交通運輸	300未満計	8	473	1	12	7	461	6,600	1,800		0.86	0.86		0	0	0	0.00	0.00	0.00	6,600	1,800		0.86	0.86	
	合計	10	2,392	1	161	9	2,231	7,760	2,750		3.11	1.35		640	215	▲ 4,300	0.48	0.19	▲ 2.03	7,120	2,535	4,300	2.63	1.16	2.03
サービス・ホテル	300未満計	1	165	0	▲ 5	1	170	6,000	3,000	3,000	3.12	1.56	1.56	▲ 129	▲ 129	0	0.09	0.01	0.08	6,129	3,129	3,000	3.03	1.55	1.48
	合計	1	165	0	▲ 5	1	170	6,000	3,000	3,000	3.12	1.56	1.56	▲ 129	▲ 129	0	0.09	0.01	0.08	6,129	3,129	3,000	3.03	1.55	1.48
情報・出版	300未満計																								
金融・保険	300未満計																								
公務	300未満計																								
その他	300未満計	1	12	0	1	1	11	9,500			3.99			0			0.06			9,500			3.93		
	合計	1	12	0	1	1	11	9,500			3.99			0			0.06			9,500			3.93		
合計	300未満計	66	6,388	9	190	57	6,198	8,099	3,599	3,831	3.41	1.30	1.40	▲ 695	▲ 211	180	▲ 0.10	▲ 0.26	▲ 0.37	8,794	3,810	3,651	3.51	1.56	1.77
	300以上計	22	15,761	2	1,714	20	14,047	7,876	3,784	3,333	3.40	1.56	1.40	516	200	▲ 342	0.30	0.13	0.00	7,360	3,584	3,675	3.10	1.43	1.40
	合計	88	22,149	11	1,904	77	20,245	8,043	3,653	3,689	3.41	1.40	1.40	▲ 407	▲ 84	30	0.04	▲ 0.10	▲ 0.23	8,450	3,737	3,659	3.37	1.50	1.63

【回答状況と昨年同時期との比較】

業種別	2018回答						対比						昨年同時期（2017年7月5日）						
	金額			率			金額			率			金額			率			
	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	合計	定昇相当分	賃上げ分	
製造業	300未満計	4,384	3,728	1,044	1.76	1.42	0.49	126	125	331	0.01	0.01	0.14	4,258	3,603	713	1.75	1.41	0.35
	合計	4,480	3,729	1,123	1.83	1.45	0.51	188	107	371	0.05	0.01	0.16	4,292	3,622	752	1.78	1.44	0.35
商業流通	300未満計	4,821			2.00			1,571	0		0.67	0.00		3,250			1.33		
	合計	4,582	4,213	908	1.93	1.56	0.36	869	795	494	0.43	0.29	0.20	3,713	3,418	414	1.50	1.27	0.16
交通運輸	300未満計	2,453	2,108	1,150	1.10	1.10	0.00	▲ 13	▲ 61	50	▲ 0.09	▲ 0.09	0.00	2,466	2,169	1,100	1.19	1.19	0.00
	合計	2,988	2,072	1,630	1.47	1.02	0.75	338	▲ 43	539	0.18	▲ 0.03	0.43	2,650	2,115	1,091	1.29	1.05	0.32
サービス・ホテル	300未満計	3,000	2,700	300	1.56	1.41	0.15	▲ 1,700	▲ 1,800	100	▲ 0.76	▲ 0.82	0.05	4,700	4,500	200	2.32	2.23	0.10
	合計	3,000	2,700	300	1.56	1.41	0.15	▲ 1,700	▲ 1,800	100	▲ 0.76	▲ 0.82	0.05	4,700	4,500	200	2.32	2.23	0.10
情報・出版	300未満計																		
金融・保険	300未満計																		
公務	300未満計																		
その他	300未満計	7,000			2.94			1,000			0.46			6,000			2.48		
	合計	7,000			2.94			1,000			0.46			6,000			2.48		
合計	300未満計	4,238	3,530	1,036	1.76	1.39	0.46	205	37	296	0.05	▲ 0.03	0.13	4,033	3,493	740	1.71	1.42	0.33
	300以上計	4,730	3,565	1,466	1.99	1.45	0.61	497	148	644	0.23	0.06	0.27	4,233	3,417	822	1.76	1.39	0.34
	合計	4,358	3,540	1,159	1.83	1.41	0.52	273	72	393	0.11	0.00	0.19	4,085	3,468	766	1.72	1.41	0.33

★連合本部発表の「2018春季生活闘争岡山集計平均賃金方式」を使用

★いずれも1組合あたりの単純平均

★昨年との集計対象組合が異なるため、金額と率の対比は整合しない